

日本経済の状況・課題

A 供給面

①生産性向上

- イノベーションの実現割合
- オープンイノベーション
- 非価格競争力
- 企業の参入、退出
- スタートアップ企業の成長力、起業活動

②資本ストック

- 設備の老朽化

③労働力

- 人手不足感
- 人的資本投資

B 需要面

ア) 投資

- 収益の伸びに比べて緩やかな設備投資
- 中小企業の設備投資の状況
- 無形資産投資の状況
- 企業の現預金の蓄積

投資と生産性向上は表裏一体

イ) 民間消費

- 所得の伸びに比べ、力強さに欠く民間消費（背景：将来に備えた貯蓄性向の高まり、デフレ予想など）
- 消費ニーズの変化
- 消費者への価格転嫁が困難

ウ) 公共投資

- 高水準でおおむね横ばい

エ) 輸出入

- 純輸出の状況
- 交易条件の悪化

C 雇用面の状況・課題

- 賃金の伸び悩み
- 労働分配率の低迷
- 非正規雇用者の増加

D 金融面の状況・課題

- 成長分野への資金供給が少ない
- 長期金利の低下と金融機関の経営環境の悪化

E 財政面の状況・課題

- プライマリーバランスに改善の遅れ、債務残高対GDP比の上昇
- 社会保障費の増加

F 地域経済の状況・課題

- 人口減少や人手・後継者不足
- 地域を支える産業の稼ぐ力の向上・維持
- エネルギー代金の地域外流出

経済的課題への様々な対策

未来投資戦略

- ✓ Society5.0の実現に向けたプロジェクト推進、社会基盤づくり等

生産性革命

- ✓ 賃上げや設備・人材投資促進、Society5.0やイノベーションの推進等

働き方改革

人づくり革命

- ✓ 子育て、教育、介護支援やリカレント教育の充実、高齢者雇用の拡大等

新たな外国人材の受入れ

経済・財政一体改革

地方創生の推進

カーボンプライシングによる価格シグナル

1. 直接的に脱炭素マーケットを拡大する可能性

(1) 脱炭素需要創出・・・Bのア)、イ)

- ✓ 相対価格の変化による脱炭素化に資する財・サービスの民間消費拡大
- ✓ 財・サービスの生産・利用時における排出削減のための設備投資や、脱炭素化に資する財・サービスの提供のための設備投資の拡大

(2) 脱炭素分野でのイノベーション促進・・・Aの①

- ✓ 財・サービスの生産・利用時における排出削減のための設備投資によるプロセス・イノベーションの促進
- ✓ 脱炭素分野で新たな財・サービスを生み出すプロダクトイノベーションの促進

(3) 脱炭素分野での純輸出の強化・・・Bのエ)

- ✓ 脱炭素化に資する財・サービスの海外展開
- ✓ 化石燃料の消費抑制による国内資金循環の拡大

(4) 脱炭素分野での資金調達の活性化・・・D

- ✓ 中長期的な脱炭素ビジネスの予見可能性の付与、投資の活性化
- ✓ 日本の脱炭素レピュテーションの向上・ESG金融の拡大による国内外からの資金調達

2. 生産性向上のきっかけとなる可能性・・・A、B

- ✓ プロダクトイノベーションの促進
- ✓ 非価格競争力、付加価値生産性の向上
- ✓ 新事業・産業の創出、競争の活性化促進

3. 経済へのコスト・負担となる可能性・・・A、B

- ✓ コスト増加、価格上昇による需要減少
- ✓ 国際競争力の低下、リーケージの発生
- ✓ 投資やイノベーションの原資の不足